

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		教育活動アシスタント					所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	43	計画事業名	学校現場における業務の改善・適正化			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 6 未来を担う子供を育む教育の推進					[事業開始] 平成15年度 [終了予定] - 年度			
	根拠法令等	その他	[法令等名]	理科支援員配置事業実施要綱						
	事業対象	直接の対象 : 区立小学校、中学校 最終的な対象 : 上記の児童、生徒、教職員								
	事業目的	教員が教員でなければできないことに力を注ぐためにボランティア等のマンパワーを活用し、学習指導上の教員の負担軽減を図る。								
	事業内容 [H30年度]	教員を志望する大学生等のボランティア指導者を活用し、区立小・中学校の各教科の授業等で、教員の補助として学習指導を行う。また、理科教育に関心の高い者を理科支援員として小学校に派遣し、小学校理科教育に活用する。 (指導方法)習熟度別学習・少人数授業・授業以外での補充的個別指導 理科における観察・実験などの支援、準備、後片付けなど。								
	委託の有無	なし	委託内容		なし					
補助金の有無	国									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度 目標値	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績 目標値 達成率			
	活動指標	指導補助者採用者数	人	120	110	101	113	120	94.2%	
		理科支援員配置校数	校	10	13	11	7	15	46.7%	
	成果指標	指導補助者派遣日数	日	2,300	2,111	2,198	2,261	2,300	98.3%	
		理科支援員派遣回数	回	250	224	218	164	250	65.6%	
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			892		838		441	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			439		408		425	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			7,453		7,789		7,604	
		総経費			8,784		9,035		8,470	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			742		772		263		
	一般財源(区負担額)			8,042		8,263		8,207		
課題及び今後の進め方	指導補助者は、学校からのニーズが高いものの、理科支援員は、人材確保策について検討する必要がある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	教育現場で教職員の目が行き届きにくい細部のフォローなどで成果を上げており、机間巡視・指導により授業の規律にも一定の効果をあげている。現場職員から派遣要望の声が大きく、教員の補助として活用を広げていくニーズは高い。							
	効率性	3	有償ボランティア事業のため最少のコストで実施されている。また、派遣者にとっては教育現場体験ができ、学校では教職員補助としての役割を担うため教員の負担軽減となり、互いの利害が一致している。							
	手段の適切性	3	学校の年間実施計画に基づいてボランティアを派遣しており、計画変更にも柔軟に対応している。							
目的達成度	2	人材不足のため、理科支援員の配置実績が減少傾向にあり、実績が目標を下回った。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
細部へのフォローや子供の姿容への気づきなどの成果が出ており、各校からも派遣要望の声が多いため、各教科の授業等の補助に加え、教員の補助としての活用について検討していく。また、理解支援員の人材確保のため、大学の理工学部に対し働きかけを行う。						改善		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		